

## 令和4年度 福島区運営方針

## 資料4

(区長: 深津 友剛)

## ◆計画

## 区・局の目標（何をめざすのか）

人と人がつながり支え合うことにより、福島区がお子さんからお年寄りまで誰にとってもこれからも住み続けたいまちになることをめざす。

## 区・局の使命（どのような役割を担うのか）

「SDGs(持続可能な開発目標)」の理念の下、次の5つをめざすべき姿として重点的に取り組む。  
1.人と人がつながるまちづくり 2.安全・安心なまちづくり 3.次世代を元気に育むまちづくり 4.誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくり 5.魅力あふれるまちづくり

## 令和4年度 区・局運営の基本的な考え方（区・局長の方針）

福島区は、過去20年に渡って人口が増加傾向にあり、それに伴って区民の行政に対するニーズや、生活環境に対する価値観が多様化してきている。

そうした中でも、南海トラフ巨大地震など災害発生時の対応をはじめ、子育てや教育環境の改善、介護等を必要とする方が安心して生活できるまちづくりなど多くの課題を解決するためには、世代を超えてお互いに協力し助け合うことが必要である。

福島区では、身近な地域でのつながりや世代間のつながりをはじめあらゆる場面で「つながり」をキーワードに、人と人がつながる、「お子さんからお年寄りまでこれからも住み続けたいまち」となるよう、引き続き全力で取り組む。

## 重点的に取り組む主な経営課題（様式2）

経営課題の概要	主な戦略
<b>【経営課題1 人と人がつながるまちづくり】</b> 地域活動協議会をはじめとした地域団体が実施する事業の活性化等を支援するとともに、若い世代やマンション住民などにも地域活動への参加を促し、地域コミュニティの充実を図る。	・地域活動の活性化と組織運営支援 ・地域活動に関する広報の充実
主な具体的取組（4年度予算額）	
・地域活動協議会の活動の活性化に向けた支援(35,547千円) ・地域活動協議会の認知度向上に向けた支援(―)	
経営課題の概要	主な戦略
<b>【経営課題2 安全・安心なまちづくり】</b> 淀川の氾濫や南海トラフ巨大地震等による被害が想定される中、区民一人ひとりの「自助」「共助」の防災意識の向上を図る。 また、地域・警察・区役所が連携し、防犯意識の向上と街頭犯罪の減少・抑止をめざして各種事業に取り組む。	・自主防災組織等の防災活動・訓練への支援 ・防犯カメラ・街路防犯灯の設置等
主な具体的取組（4年度予算額）	
・避難所開設訓練等への支援(981千円) ・小・中学生の防災意識の向上(72千円) ・地域防災イベント(900千円) ・中学生被災地訪問事業(2,218千円) ・防犯カメラ・街路防犯灯の設置、防犯啓発による安全なまちづくり(2,000千円)	
経営課題の概要	主な戦略
<b>【経営課題3 次世代を元気に育むまちづくり】</b> 子育てしている親の不安感等の解消のため各種施策に取り組む。 また、学校教育の現場ニーズに対応した支援を学校と連携して行う。	・妊娠期から就学前の子どもを持つ親に対しての子育て支援 ・小・中学生の体力、学力向上事業
主な具体的取組（4年度予算額）	
・育児不安軽減に向けた子育て支援事業(1,709千円) ・区役所庁舎を活用した子育て支援事業(600千円) ・小・中学生の体力向上事業(408千円) ・小・中学生の基礎学力向上事業(14,825千円)	

経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題4 誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくり】</p> <p>住み慣れた地域の中で、高齢者や障がい者など支援を必要とする方々が、自分らしく安心して暮らし続けることができるよう、地域住民や企業、団体、関係機関等多様な主体と連携しながら地域福祉の推進に取り組む。</p> <p>また、誰もがいきいきと毎日を暮らせるように、日頃から健康への関心を高めてもらえるような啓発活動などに取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活課題の解決に向けた相談支援体制の充実</li> <li>お互いに気にかけて、つながり、支え合う地域づくり</li> <li>各種検診・健康診査の啓発</li> <li>介護予防の取組</li> </ul>
主な具体的取組（4年度予算額）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な福祉ニーズへの対応(15,446千円)</li> <li>地域でのつながりづくりと支え合い、助け合いの意識啓発(500千円)</li> <li>がん検診の受診率向上(383千円)</li> <li>いきいき百歳体操の普及・継続支援(—)</li> </ul>	
経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題5 魅力あふれるまちづくり】</p> <p>地域住民や企業、商店街等との連携により、区の魅力を発信できるイベントを実施するとともに花とみどりのまちづくりを推進するなど活気とうるおいあるまちをめざす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区の花「のだふじ」をはじめ地域の魅力を活かした各種イベント事業</li> <li>区民との協働による花とみどりのまちづくり</li> </ul>
主な具体的取組（4年度予算額）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「のだふじ巡り」など区の特性を活かしたイベントの実施(22,151千円)</li> <li>花とみどりのまちづくり事業(572千円)</li> </ul>	

「市政改革プラン3.1」に基づく取組等（様式3）	
主な取組項目	取組内容
—	—

## ◆自己評価

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと
<p>少しずつ新型コロナウイルス感染症の影響が薄れつつあり、感染防止策を継続しながらも従来の事業を徐々に再開できる状況となっており、昨年度に比べて目標を達成できる取組も増えてきた。</p> <p>特ににぎわいづくりにかかる取組は年度後半以降から活気を取り戻しており、翌年度以降はさらなる活性化をめざしたい。また、各地域活動協議会が実施する催しなどを支援し、地域活動の活性化に資するよう取り組んでいきたい。</p> <p>また、災害時の避難で支援を要する方をサポートする「個別避難計画」の取組については、今後懸念される南海トラフ巨大地震等に備えて、地域との連携を強化しつつ着実に進めたい。</p>

解決すべき課題と今後の改善方向
<p>コロナ禍以前から課題となっていた地域活動の担い手不足等は、過去数年の活動自粛期間を挟んでより深刻な状況となっている。</p> <p>区民まつりや区の魅力を発信できるイベントであるふくしまてんこもりなど、地域住民が顔を合わせて楽しめるイベントなどをきっかけに人と人とのつながり、支え合いの大切さを再認識し、住みよい地域づくりのために力を合わせて防災や福祉の取組を進められるような環境づくりに努めていく必要がある。</p>